

つたえる つたわる 伝統文化のネットワーク NPO 法人 蔦くらぶ

“わくわくワークショップ「高砂を謡おう」

平成 15 年 5 月 28 日、6 月 11 日 講師 観世流シテ方：中森貫太

四海波静かにて、国も治まる時つ風、
枝をならさぬ御代なれや、あひに相生の、松こそめでたかりけれ。
げにや仰ぎても、事も疎かやかかかる代に、住める民とて豊かなる、君の恵みぞありがたき、
君の恵みぞありがたき。

【意識】

四方（よも）の海も波静か。

国もめでたく治まる時とて、折よく吹く風は枝を鳴らさず、泰平の御代（みよ）である。

このよき御代にめぐり逢う、相生の松はまことにめでたいことだ。

いやまったく、どんなに誉め讃えても、言うも愚かなくらいであるが、このようなめでたい御代に、住んでいる民なので誠に満ち足りたもの、大君（おおきみ）の豊かなご恩恵は有り難いこと、天皇のお恵みはほんとうに有り難いことだ。

わくわくワークショップ「高砂を謡おう」・・・・・・・・平成15年5月28日、6月11日

観世流シテ方：中森貫太



高砂の海は静かにして風も波もあつたつ
風は枝と鳴らさぬ海代あはれや
あはれに松をたてまつりてあり
けいげにや作まつりも来り
味かやかる代にほめる民とて
豊かある君の恵みぞありがた
き君の恵みぞありがたま

高砂 四海波

